

平成27年4月26日執行

行方市議会議員一般選挙公報

行方市選挙管理委員会

未来の行方のために！

財政の健全化

- 行方市の知名度アップ
- 行方製品のブランド化

観光事業の推進

- 近隣自治体との連携による観光ルートの創設

議会改革

- 透明性のある市民に伝わる議員活動



ひらの
ゆず
お
や
わ
ら

初志貫徹

実行します お聞かせ下さいあなたの声!!

- 《進めます》
- 生活環境の整備
 - 行財政改革
 - ・議員定数是正を含む
 - 安定した雇用の確保
 - ・地域産業の支援、育成
 - ・高速道路開通に伴う企業誘致
 - 人口減少社会への対応

行方市人口予想

若年女性 人口変化率 - 59.3%	2040 年 若年女性人口 1,519 人	2040 年 総人口 21,802 人	2010 年 若年女性人口 3,733 人	2010 年 総人口 37,611 人
--------------------------	-----------------------------	---------------------------	-----------------------------	---------------------------

昨年出版され話題となった、増田寛也氏の「地方消滅」の抜粋です。



お
は
ら
大
原
こ
う
へ
い

小さな声を大きく実現！

皆さまにお約束します

- ◎防災、減災対策で災害に強いまちづくりの推進を図ります。
- ◎少子化対策に全力をあげ、子どもを産み育てやすい環境を作ります。
- ◎人間性豊かな教育環境の推進を図ります。
- ◎農業問題に取り組み活性化を推進します。
- ◎結婚対策支援事業の推進を図ります。
- ◎地域包括ケアシステムの構築を推進します。

略歴
●●●
●行方市議会議員二期
●公明党行方支部長
●銚子高等学校卒業

私は、これからも現場主義に徹し、皆さまの貴重なご意見を賜いながら、安全・安心のまちづくりに全力で取り組んでまいります。笑顔溢るなめがたの未来づくりを市民の皆さまと共に、築き上げていきたいと思っております。



公明党
た
か
は
し
ま
さ
の
ぶ
(64歳)

魅力ある街づくり

経験と若さで 全力投球!!



こ
ば
や
し
小
林
ひ
さ
し
(58歳)
無所属

信念と行動

- お陰様で皆様方の力強いご支援を頂き、議員活動を続けることができましたことを深く感謝申し上げます。
- 今迄の経験を活かし、信念と行動をモットーに市政に民意を十分に反映されるよう現状の改善と、「人づくり」を基本とした主権在民の市政の実現を目指して行きます。
- 1、少子高齢化社会をむかえ生き甲斐の持てる社会福祉の整った市へ！
 - 2、生活道路や市民が住みやすい住環境の整備
 - 3、国際競争に耐えうる農業生産力・生産基盤の整備
 - 4、子供たちの明るい未来の為に質の高い教育
- 行方市に住んで良かったと言われる市づくりに邁進することそれが私の政治理念として頑張りたいと存じます。
- 今後とも皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。



ひらの
平
野
し
ん
い
ち



や
ま
ぐ
ち
し
ろ

- 行方市は人口が減少しています。平成十七年合併時の40,035人から平成二十六年十月一日には35,472人になり、4,563人減少しています。減少率は約11.39%です。原因の割合は、推計ですが自然減(出生マイナス死亡)が58%、社会減(転入マイナス転出)が42%です。
- ①自然減の対策として結婚、出産、子育て環境を一層充実します。結婚対策としては、市の結婚対策支援事業をさらに充実することと必要と考える若い人たちが自然に集える施設(例えば、総合レジャーランドあるいはスポーツ文化、芸術プラザ)を造ることで出会いの場をつくることも必要だと考えます。
 - ②社会減の対策として、行政サービス、生活インフラなどの生活環境を充実させます。とくに租税、利用負担に対する行政サービスの割合を、無駄な事業をなくし発展の障害にならないよう規制をなくすことやITによる行政効率化によって、飛躍的に向上させます。また企業誘致、起業支援をすすめるための環境整備を推進し、雇用環境の充実をはかります。
 - ③農業、商業、工業、漁業、林業などのすべての産業の発展をはかります。農産物の宣伝の強化をはかり、有機農業を応援します。稲作対策、商店街対策は喫緊です。
 - ④医療環境の質的向上、救急医療の一層の整備を推進します。いじめ、不登校対策を充実するとともに質の高い教育を推進します。スクールバスを無料化します。所得格差が教育に影響を与えない環境の整備に全力で取り組みます。在宅介護を充実します。
 - ⑤合併浄化槽事業などの推進、常陸利根川水門の開閉調整により霞ヶ浦、北浦の水質浄化をはかり、観光業、漁業の発展をはかります。
 - ⑥バス等の公共交通機関を充実します。
 - ⑦太陽光発電など再生可能エネルギー事業を行方市有の未利用地等で行い、その収益を行政サービスの向上などにあてます。
 - ⑧国会、県議会と市議会との一般質問、予算、決算の質疑をインターネットで中継します。また、テレビ放映を三庁舎1階ロビー等、公民館等で行います。
 - ⑨IT行政を推進し市民がどの庁舎でも可能なすべての手続きを行えるようにします。また法務局データのようにインターネットで地積図等を入力できるようにします。
 - ⑩投票所の数を増やし投票率の向上をはかり、政治への関心を高めます。

投票日 4月26日(日) 午前7時から午後6時まで

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

期日前投票 4月20日(月)から25日(土)まで 午前8時30分から午後8時まで

場所 行方市役所 麻生庁舎、北浦庁舎、玉造庁舎